

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	02	01	16	0403	賢治のまちづくり推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	宮沢賢治を活かしたまちづくり					
対象	市民					
意図	宮沢賢治の業績にふれて、その理解を深める。					
事業概要						
<p>○「賢治の世界セミナー」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校・高校を対象に出前講座を開催 ・一般を対象にセミナーを開催 <p>○「賢治の世界ワークショップ」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢治の世界を体験する「子ども劇」「ゆかりの地探訪・星」「石」の4講座開催。「子ども劇」は発表会までの連続講座。 <p>○「開館記念行事」開催・宮沢賢治記念館開館を記念し、9月21日に開催。「佐藤三昭作曲の和洋楽による朗読コンサート&トーク」</p>						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	セミナー開催回数	回	計画	30	30	
			実績	23	17	
②	ワークショップ開催回数	回	計画	5	5	
			実績	4	4	
③	開館記念行事開催回数	回	計画	1	1	
			実績	1	1	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	セミナー受講者数	人	目標	2,500	2,500	
			実績	3,944	2,407	
②	ワークショップ参加者数	人	目標	200	200	
			実績	297	194	
③	開館記念行事参加者数	人	目標	70	70	
			実績	150	118	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<p>○小中学校のセミナー受講者数に関しては、開催希望校が14校であったが、全校児童生徒で取り組む学校が多かったため、目標値に近い数値となった。</p> <p>○ワークショップに関しては、5月・6月に実施した探索会は、様々な生涯学習事業と日程が重複したためか、募集定員に達しなかった。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	賢治作品等への理解を深め、芸術文化の振興を図るものであり、市が関与することは妥当である。特にも、学校の児童生徒に対する取り組みは市が関与すべきものである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="radio"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	学校での取り組みが、児童生徒の宮沢賢治への理解を深める手段として有効であり、市内の全校での取り組みを促進することで成果は向上すると判断した。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	講師の別を問わず、一定の謝礼で実施しているほか、職員が直接講師を務めるなど事業費の削減に務めているほか、実施校教員の協力を得て事業実施している。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全ての児童生徒及び市民対象としており、受益の機会は均等であり費用負担の必要でないことから適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価		
<p>直接学校に出向いての宮沢賢治にふれる機会の提供の継続は、より多くの市民が郷土花巻の代表的な先人を知ることにも寄与するものである。</p> <p>また、児童生徒を対象とした希望型により実施するワークショップとの組み合わせにより、より宮沢賢治にふれたい児童生徒そして一般市民を拡大できるものと考えている。</p> <p>市のみならず、さまざまな賢治にふれる機会の提供と合わせて、本事業の実施は賢治さんの香りあふれるまちづくりに寄与している。</p>		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 まちづくり部 課名 宮沢賢治記念館 担当係長 牛崎 敏哉 内線 31-2319

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	0403	賢治のまちづくり推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			5,366		5,366
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		5,366		5,366

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
文化の香り高いまちづくり

事業開始の背景・経緯

「賢治の世界セミナー」「賢治の世界ワークショップ」は平成23年度より市内小・中学校等、一般を対象に次世代への賢治世界の理解を深めるため開始。「開館記念行事」「市民講座」は開館以来朗読会や講演会等を開催。

事業概要

- 「賢治の世界セミナー」開催
 - ・市内小・中学校・高校を対象に出前講座を開催
 - ・一般を対象にセミナーを開催
- 「賢治の世界ワークショップ」開催
 - ・賢治の世界を体験する「子ども劇」「ゆかりの地探訪・星」「石」の4講座開催。「子ども劇」は発表会までの連続講座。
- 「開館記念行事」開催・宮沢賢治記念館開館を記念し、9月21日に開催。
「佐藤三昭作曲の和洋楽による朗読コンサート&トーク」

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 「賢治の世界セミナー」での市内小・中学校・高校への出前講座は、学校からの希望により開催しているが、平成25、26年度ともに、実施目標30校に対して14校と少なく、一般向けを加えても平成26年度17講座となった。教育委員会や各学校との連携を密にし、呼びかけを強め、市内学校出前講座開催の増を図ってきたい。
- 「ワークショップ」4講座は、講座によって参加者にバラつきがあることから、少ない講座については、効果的な開催日時の調整や内容の工夫により参加者増を図った。

《事業手法の詳細》

- 賢治の世界セミナー
市内小・中学校、一般を対象に出前講座を開催。
8節 520 千円 学校、一般対象14講座分講師報償費
9節 497 千円 セミナー講師費用弁償
11節 243 千円 事務用消耗品
12節 20 千円 連絡用切手代
13節 107 千円
計 1,387 千円

- 賢治の世界ワークショップ
市内小・中学校・一般を対象に、賢治作品に関わる「子ども劇」「ゆかりの地探訪・星」「石」等のワークショップを開催。「子ども劇」は発表会までの連続講座。
8節 254 千円 ワorkshop講師報償費54、子ども劇等講師報償費200
13節 49 千円 音響業務委託
14節 63 千円 バス借り上げ料
計 366 千円

- 企画展及び開館記念行事、リニューアル関連
8節 130 千円
9節 163 千円
13節 3,320 千円
計 3,613 千円

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展	「イーハトーヴォ海岸と賢治」～11/29									閉館12/1～4/24		
セミナー	賢治の世界セミナー 市内小・中学校											
ワークショップ	「石」	「ゆかりの地・星」	子ども劇									
各種行事			市民講座		開館記念行事9/21							